

平成22年7月6日

「着地型旅行商品・観光素材に関する研修会」を 開催します！！

(社)信州・長野県観光協会では昨年度より、当協会会員（市町村観光関係者および観光事業関係者）との連携推進事業の一環として、着地型旅行商品・観光素材の造成への理解を深め、また、長野県旅行商品商談会及び県外誘客活動において地域の魅力を効果的・効率的に発信し販売促進を図ることを目的に、着地型旅行商品・観光素材に関する研修会を実施しております。

本年10～12月の信州デスティネーションキャンペーン（信州DC）後の誘客対策として、信州DCによって掘り起こされた地域の埋もれた観光資源を活用する着地型旅行商品・観光素材の造成に加え、本年度は受入地域の仕組みづくり、ならびに販売促進をより一層推進するため、下記により研修会を開催しますので、ご案内いたします。

1 日時

松本会場：7月13日（火） 13:30～15:30

長野会場：7月14日（水） 9:30～11:30

2 会場

松本会場：長野県松本勤労者福祉センター2階 第4号会議室
（松本市中央4-7-6）

長野会場：長野市若里市民文化ホール2階 会議室2・3
（長野市若里3-2-2）

3 参加者（参加者数は7月6日現在）

協会会員（市町村および地方事務所観光関係者・観光事業関係者等）

松本会場 12市町村 30名 / 長野会場 15市町村 41名

4 研修内容

「観光地における着地型観光の造成・販売事例」

講師：旅行ジャーナリスト（元旅行読売編集長）

沓掛 博光（くつかけひろみつ）氏